



生徒の意欲が学校を動かす！

◆働くことの意義をあらためて考える時

仕事に対する勤勉さは、とても大切です。ひたむきに働く姿は、誰もが疑うことはない理想として認識していることでしょう。

しかし、今、コロナによって、今年上半期の全国倒産企業数が3800社を超えるなど、勤勉さを発揮できる職場が失われています。

勤労学生の通う夜間定時制課程では、これまで「いかに勤勉に働くか」と理想を教えてきましたが、コロナ禍によって、「いかに生きていくか」が大切であることもあらためて認識しなければなりません。

すなわち、仕事に対する価値観が変わる中、物質的にも経済的にも豊かになることが必ずしも幸せにつながることをあらためて理解しなければならないのです。真の幸せとは何か。その答えはとても難しいかもしれません。しかし、今の状況を踏まえると、人とのつながりや思いやりを体感できる環境を自分の力で作っていくことが生きる幸せへと必ずや導けるのではないかと信じてやみません。どうか皆さんも、コロナ禍によって気付くことができた「支え合ったり助け合ったりする心の大切さ」を学校生活の中でしっかりと身に付けられるように仲間を大切にしてください。



◆荒工オリパラ祭り開催！

「コロナに負けるな！」この生徒の思いと教員の情熱が合致し、学校を動かしました。先生方の「生徒と楽しい時間を共有する！」と生徒の「友達と楽しく遊びたい！」この基本に立ち返る有言実行により、生徒会が中心に「荒工定オリパラ祭り」を企画し、4日間におよぶ歴史的行事を実現させたことは言うまでもありません。生徒が心折れそうになりながら製作したミニ四駆のサーキットは、想像をはるかに超えた壮大なスケールとなりました。

また、ボッチャ、バドミントンなど、生徒と先生方とが一緒にいる時間が何と居心地の良い空間であるかをあらためて感じ、荒工定は、ファミリーであることの喜びにあふれていました。

この行事を荒工定のレガシーとして何年先も継承されていくことを期待します。生徒の皆さん、そして先生方、本当にありがとうございました。皆さんは、本校の誇りです。

